

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

内9	第5回テラヘルツ光科学・技術に関する国際会議	<p>現在、最も進展の著しい光科学の一分野である「テラヘルツ光」の科学・技術に関する国際会議を開催した。国内外の研究交流を活性化し、我が国のこの分野での研究をさらに高めることを目的とし、特に、若手研究者に対する研究奨励、チュートリアルを重視した運営を行った。</p> <p>今回の会議の総参加者は336人であり、国内参加者(160人)を海外参加者(176人)が上回るという、真の意味での国際会議であった。 高強度な光源や半導体カスケードレーザーなど先端的な光源やデバイスに関する発表、非線形光学、半導体物理学、光物性などの基礎研究の発表、およびイメージング、生命科学や化学への展開の報告が数多くあった。</p> <p>会議を通じて、5つのキーノート講演と17の招待講演を選び、シングルセッションの午前中もしくはセッションの冒頭での発表を行ってもらった。講演時間はキーノートで50分、招待講演で25分であり、ゆとりのある講演と議論が可能であった。</p> <p>また、一般の口頭発表として、118件の論文を選んだ。講演時間は15分であり、すべてがパラレルセッションであった。</p> <p>さらに、ポスターセッションとして197件の論文を選んだ。1時間20分の討論時間をもつ4つのポスター発表に分割して開催した。 国際委員と招待講演者に評価者になってもらい、ポスターアワードを選定した。 初日の4月1日には5つの1時間講義をチュートリアルとして提供した。若手や新規参入の研究者など102名の参加者があり、大変好評であった。</p> <p>以上のように、今回のOTST2013においては、①一流の科学者が一堂に会する機会を設けることができた、②テラヘルツ光技術の最新の成果と発展に関して多くの素晴らしい講演がなされた、③若手を啓発することを十分に行うことができた、という成果が得られ、大成功であった。</p>	700	国際会議
		<p>【実施地等】京都</p> <p>【実施期間】2013/4/1～2013/4/5</p>		
		<p>http://www.tanaka.icems.kyoto-u.ac.jp/otst2013/index.php</p>		